

夢洲は野鳥の 楽園でした

- ・世界的に減少が指摘されているシギ・チドリ類は、長距離の渡りをするものが多く、渡りの中継地の湿地の消失が減少の大きな要因となっています。大阪湾での飛来地消失は鳥たちにとっては大きな打撃です。
- ・本州最大級（2021年1月調査101羽）のツクシガモ（絶滅危惧Ⅱ類）の飛来地が失われます。
- ・ツクシガモやシギ・チドリ類など夢洲と南港野鳥園とを往来する水鳥が多くいることから、南港野鳥園への飛来数も激減すると考えられます。
- ・生物の多様性を守るために極めて重要な「生物多様性ホットスポット」という府民の貴重な財産が失われてしまいます——写真文章とも日本野鳥の会大阪支部HPより



↓ツクシガモ、（手前はハシビロガモ）
2022. 3. 13 本州最大の越冬地が消失する

